

# 商店街・まちのブランディングを考える 地域まるごと実践型ワークショップ(実績)

## 1 目的

商店街及びまちに関わる様々なメンバー(商店主や支援機関など)が、商店街、まちエリアの魅力などを再認識し、商店街のありたい姿を体現するためのアクションプランを考えるワークショップを開催することにより、エリアの個性や多様性を伸ばし、エリア価値の向上を図る。

## 2 実施主体

経済産業省 近畿経済産業局 産業部 流通・サービス産業課  
寝屋川市 都市デザイン部 都市一課(総合戦略・産業立地)

## 3 開催日程

回	開催場所	日程	内容	参加人数
第1回	西北コミセン (香里園駅エリア)	7/24 (木)	・自己紹介 ・SWOT分析(各エリアの強み・弱みの分析) ・SWOT分析の発表 ・尼崎市(杭瀬)の事例紹介、近隣商店街見学	34人
第2回	枚方信用金庫 寝屋川支店 (寝屋川市駅エリア)	8/22 (金)	・定量的データの把握(家賃・定住人口・仁竜・駅乗降客数等) ・定量的データの変化の把握(5~10年で増減しているか) ・将来の在りたい姿、エリアの取組内容について意見交換 ・神戸市(灘中央市場)の事例紹介、近隣商店街見学	39人
第3回	40coffee (萱島駅エリア)	9/26 (金)	・各エリアの現状の整理(在りたい姿・具体的なアクション) ・各エリアの中間発表(強み・弱み・機会・脅威/客観的データ) ・和歌山市(北ぶらくり丁)の事例紹介、近隣商店街見学	39人
第4回	望が丘ランチ (寝屋川公園駅エリア)	10/30 (木)	・成果発表に向けた議論 最終発表のブラッシュアップ・発表スライドの検討 ・近隣商店街見学	43人
第5回	ラリーモール日新 (萱島駅エリア)	11/14 (金)	・各エリア成果発表(4エリア×15分) エリアの課題・在りたい姿・具体的なアクション ・パネルディスカッション(ファシリテーターと各エリア代表者) ワークショップを実際にやってみて	61人

## 4 発表内容(成果発表の内容等)

エリア	エリアの特徴	提案のあった実施内容
香里園 エリア	・便利、にぎわい、やすらぎ、すべてが揃う ・線路や踏切がまちを分けている ・横のつながりが少ない	香里園駅の西側と東側の連動イベント・成田山不動尊(豆まき)との連動イベント等の提案
寝屋川 市駅 エリア	・立地の良さ ・公共施設の充実している ・市内大学の結節点である	寝屋川市駅の事業者による会議の継続、寝屋川市駅の西側と東側の連動イベントの提案
萱島 エリア	・レトロな魅力とコスパの良さ ・人の面白さが特徴的 ・治安が悪く、入りづらい独特の雰囲気がある	萱島の事業者が集まる「かやしまベース」の設置、萱島レトロを活かしたイベントの提案
寝屋川 公園 エリア	・人口の増加、駅前周辺の開発、みどりがあ ・駅前通過点であり、立ち止まる場所にな っていない(滞在する理由がない) ・駅前と公園が繋がっていない	寝屋川公園駅の駅前広場・寝屋川公園を活用したイベントの提案